

松蔭 校長室だより

2026年 1月 8日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。

(エフェソの信徒への手紙 5:15~16)

次の四半世紀を生きるために

21世紀に入り四半世紀を経て新しい年を迎える。昨年末の2学期終業式では、これからの変革の時代を生きる心がまえについて次のように話しました。

学校のカレンダーでは2学期末ですが、年号で言いますと2025年が終わり、21世紀の最初の25年、つまり四半世紀が過ぎました。四半世紀という時間の経過について歴史上の出来事を見ていくと、時代が大きく動き、社会が大きく変容していることがわかります。第一次世界大戦が始まったのが1918年、それから20年が経った1939年に第二次世界大戦が勃発して日本も参戦しました。それから数年、全世界で5千万人を超える兵士、民間人の犠牲と、人類史上初めての核兵器の使用を経てようやく戦争が終わりました。明治維新は1868年に始まりました。徳川幕府に代わって発足した明治新政府により、様々な制度改革が行われました。江戸時代に厳しく禁じられていたキリスト教の信仰も解禁され、ちょうど四半世紀後の1892(明治25)年、ミッションスクール松蔭が英国人宣教師と神戸の日本人教育関係者の手で設立され、皆さんのが今この場に集っているのです。25年の時間の流れは、世の中の様子や社会の在り方、生活の様子を一変させてきました。

現在を考えてみましょう。今から四半世紀前の西暦2000年、すでにパソコンやインターネットはありました、スマートフォンやタブレットは存在しませんし、SNSもありません。ICOCAやPITAPAはまだ登場していませんし、電子マネー、PayPayなどQR・バーコード決済のシステムもありませんでした。現在の道路にはEV、電気自動車がふつうに走っていますが、25年前にはまだ実験段階でした。

年明けから21世紀は次の四半世紀になります。世の中はどうなるだろうか、ということを想像したいと思います。高校生の皆さん年齢が40歳台に、中学生は30歳台後半になっています。社会人として自立し、企業で働いたり地域で活躍したりする姿を想像します。VUCAの時代と称されるこれからの時代です。VUCAとは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った言葉で、社会がどのように変化するかが予測できない時代、ということです。現在、世の中に存在しないものが当たり前のように身の回りにあって利用され、逆に当たり前のようにやっていることが廃止されたり無くなったりしている。そのような社会の大変革がこれから間違なく起こるのです。

どうなるのかなあ?不安だなあ、というのが皆さん率直な感想でしょうか。しかし恐れる必要はまったくありません。ポイントは、自分自身が自分の人生をどのように生きようとするのか。何を大切にしたいのか、を考えることだと思います。難しい言い方ですが、自分の価値観や人生のビジョン、人生の目的を持つということだと思います。自分がどう生きたいのか、何を大切にしたいのか、自分の人間としての軸を見つけたり、つくりたりすることが大切です。昨日のクリスマス礼拝の牧師先生の話では、人間の「土台」という言い方をされていました。自分の周りがどのように変化しようが、「私は私」であり、「私は私の生き方をしていく」と考えるのです。さらに言えば、松蔭生の皆さん一人ひとりが、“Open Heart Open Mind”のスクールモットーを自らの生き方に乗っけることができれば、あなたの人間としての軸は鬼に金棒です。何があっても揺るがないように思うのです。

3学期の予定

1月16日（金）①校時始業前には、翌日の阪神淡路大震災記念の日にむけ、全校追悼礼拝を講堂で行います。中高とも通常の礼拝時刻の登校です。この日は④校時終了後に下校となり、午後から中学入試期間に入ります。

中学入試のための自宅学習日 1月17日（土）、1月19日（月）

第3回英検会場校 1月25日（日）

高校入試のための自宅学習日 2月10日（火） 中3DS/GS生徒（基礎学力判定試験受験）を除き自宅学習日

「奉仕活動の日」 2月14日（土） 各ストリーム・コースやクラス単位でボランティア活動

第3回保護者「おしゃべり会」2月21日（土）10：30 後日、Classiにてご案内します。

各ストリーム・コースのプログラムや行事については別に連絡があります。